定期点検の実施要領（塔槽類：２０号タンク等）

| 点検項目 | 点検内容 | 点検方法 |
| --- | --- | --- |
| 二十号タンク等 | 屋内外にあるタンク | 本体部（ジャケット、コイル、シール部等を含む） | 漏えいの有無 | 目視**【確認事項】**・表面に汚れやにじみがないか・周りに垂れた痕跡がないか・周囲で悪臭がしていないか**【モニタリング技術・診断技術の適用例】**・赤外線カメラ（赤外線で熱異常を確認）・ガス検知器（可燃性蒸気の滞留の確認） |
| 変形、亀裂、損傷の有無 | 目視**【確認事項】**・変形や損傷はないか・異常音や異常振動が発生していないか・表面に変色がないか**【モニタリング技術・診断技術の適用例】**・３Ｄレーザースキャン（レーザーを照射し、外面腐食量を解析）・フェーズドアレイ超音波探傷（超音波により溶接部のクラックや傷の深さ、ボルトの腐食等を観測）・振動計（回転機器等の振動データを監視することにより、ボイラー、コンプレッサー、回転機器等の変形や損傷を推測）・赤外線サーモグラフィー（外表面の温度を測定し、保温材の劣化部分の検出や配管の腐食潜在箇所を推測） |
| 塗装状況及び腐食の有無 | 目視又は計器による肉厚測定**【確認事項】**・錆びが浮き出ていないか**【モニタリング技術・診断技術の適用例】**・超音波連続板厚測定（超音波による塔槽内部からの外面腐食を測定） |
| ボルト等のゆるみ等の有無 | 目視又はハンマーテスト |
| 保温（冷）材の損傷、脱落等の有無 | 目視**【確認事項】**・損傷や脱落等はないか・外装板に隙間や劣化がないか・不要な保温（冷）材がないか・保温材が湿潤していないか**【モニタタリング技術・診断技術の適用例】** |
| 二十号タンク等 | 屋内外にあるタンク | ル部等を含む。）本体部（ジャケット、コイル、シー | 保温（冷）材の損傷、脱落等の有無 | ・赤外線サーモグラフィー（外表面の温度を測定し、保温材の劣化部分の検出や配管の腐食潜在箇所を推測）・中性子水分計（保温材の水分量を予測し、腐食潜在箇所を推測） |
| 強め縄の変形、亀裂、ゆるみ等の有無 | 目視 |
| ノズル（水抜管を含む。）マンホール等 | 漏えいの有無 | 目視**【確認事項】**・表面に汚れやにじみがないか・周りに垂れた痕跡がないか・周囲で悪臭がしていないか**【モニタリング技術・診断技術の適用例】**・赤外線カメラ（赤外線で熱異常を確認）・ガス検知器（可燃性蒸気の滞留の確認） |
| 変形、損傷の有無 | 目視**【確認事項】**・変形や損傷はないか・異常音や異常振動が発生していないか・表面に変色がないか**【モニタリング技術・診断技術の適用例】**・３Ｄレーザースキャン（レーザーを照射し、外面腐食量を解析）・振動計（回転機器等の振動データを監視することにより、ボイラー、コンプレッサー、回転機器等の変形や損傷を推測）・赤外線サーモグラフィー（外表面の温度を測定し、保温材の劣化部分の検出や配管の腐食潜在箇所を推測） |
| 取付けボルトの折損等の有無 | 目視 |
| 塗装状況及び腐食の有無 | 目視又は計器による肉厚測定**【確認事項】**・錆びが浮き出ていないか |

備考　保温（冷）材付きの塔槽類で、定点による肉厚測定で減肉傾向をみる場合は、測定箇所の保温（冷）材は容易に外せる構造にする。